

# 商 況

(日本製鐵販賣旬報第 114~116 號より抜萃)

## 昭和 13 年 5 月中鐵鋼關係日誌

- 1 日 大阪の岸本 津田 岡谷 山本の指定問屋としての販賣部は合併して大阪鋼材株式會社に移り 4 店は新に特約店として業務を開始す。
- 2 日 大藏省では海外に於ける金相場の昂騰に鑑み産金買入價格を 1gr に付 8 錢方引上げ 3 圓 85 錢と改訂本日より實施、世界市價とパーとなる。
- 3 日 ヒットラー獨總統はローマに入りムッソリニ首相を訪ふ。
- 4 日 東京伸鐵工業組合 5, 6 月渡賣出値段は丸鋼 9mm 220 圓 (5 圓上げ), 12mm 225 圓 (10 圓上げ), 角鋼 7.5mm 240 圓 (5 圓上げ), 11mm 240 圓 (2 圓上げ), 12mm 240 圓 (5 圓上げ)。平鋼 3mm 厚 9mm 242 圓 (3 圓下げ), 12mm 240 圓 (2 圓下げ), 16mm 237 圓 (2 圓上げ), 32mm 238 圓 (3 圓上げ), 6mm 厚 9mm 242 圓 (3 圓下げ), 9mm 厚 12mm 248 圓 (2 圓下げ)。
- 5 日 佛國政府は法貨を 1 磅に對し 179 法に切下ぐる旨發表した。
  - 昭和 12 年 7 月を 100 とする全國主要 24 市平均の 4 月中労働者生計費指數は 108.0 で 3 月に比し 1.1 % の上昇。
  - 米國製鋼作業率の漸減傾向熾まず今週は全能力の 30.7% にして前週より 1.3% 續減を示す。
  - 米國操業中の熔鑛爐は 79 (前月は 90) 生産高は 1924 年來の激減を示す。
  - 本日倫敦よりの入電によれば (爲替 1/2-0)

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs	Difference
Cleveland No. 3 pig iron	£ 6-18-0	¥ 120.13	0
M. S. Bars	8-17-0	151.95	¥ -21.88
M. S. Angles	9-5-0	161.37	-12.46
M. S. I Beams	8-15-0	152.81	-16.26
M. S. Channels	"	"	"
M. S. plates	48.00	171.21	0
British Black Sheets	19-5-0	332.63	0

歐洲値段は過般成立せる國際協定により表面安定期に入りたるものゝ如くであるが、國內需要は依然不振なる爲海外市場への乗出を目的に今回の大幅の引下げを試みられたるものと見られてゐる。

○紐育よりの入電によれば (爲替 28-1/2%)

	Per 2,240 lbs	Per 1,000 kgs	Difference
M. S. Bars (Base size)	£ 52,416	¥ 183,740	0
" Angles ( " )	50,624	177,550	0
" I Beams ( " )	"	"	"
" Channels ( " )	"	"	"
" Plates ( " )	"	"	"

- 6 日 日鐵では本店業務規定を大體次の如く改正し本日より施行す。
  - 總務部に人事課、庶務課、勞務課及外事課を置き
  - 外事課は關係會社に關する事項、渉外事項 (別に規定なきもの) の事務を掌る。

販賣部に第 1 販賣課、第 2 販賣課、第 3 販賣課、第 4 販賣課及整理課を置き

第 1 販賣課では

- 1, 製品の販賣に關し作業所との連絡に關する事項
  - 2, 販賣統制に關する總括的事項
  - 3, 製品の販賣に付調査に關する事項
  - 4, 銑鐵及半製品 (鋼塊を含む) の販賣約定に關する事項
  - 5, 他の課に屬せざる事項
- の事務を掌る

第 2 販賣課に於ては、軌條、軌條附屬品、條鋼、線材、鍛鋼、外輪及特殊鋼の販賣約定に關する事務を掌る。

第 3 販賣課に於ては厚板、中板、硬板、仕上鋼板、ユニバーサル平鋼、及副製品の販賣約定に關する事務を掌る。

第 4 販賣課に於ては薄板、ブリキ、珪素鋼板及帶鋼の販賣約定に關する事務を掌る。

○倫敦よりの入電によれば鐵鋼市場は未だシンジケートとの値下が公表せられざるにも拘らず米國メーカーが市價を下廻て賣應じ居る爲大陸メーカーも此に對抗する事に意見の一致を見た。一般先行は現在の處では米國のコストを下廻て激しき値下を見る事はあるまいと。

○紐育よりの入電によれば各鐵鋼メーカー殊にシンジケート外のアウトサイダーたる小メーカーは米國々内需要減退の爲現在の輸出値段が既に原價採算を下廻り居るに不拘尙輸出向を賣らんと焦て居る現在の狀況よりしては市況の先行は國內需要が改善されざる限り弱いと見なければなるまいと。

○米國一級屑鐵ピツツバーク消費者渡 11 弗 50~12 弗、輸出向紐育渡 10 弗 50~11 弗、レール屑輸出向ボストン貨車渡 11 弗 50。

○上海を中心とする支那上海海關接收問題は我が國の暫行的措置案につき日英間に圓滿解決を見る。

9 日 今週の米國製鋼作業率は全能力の 30.4% と見積られ前週より 3% の減。

10 日 US スチール會社發表、4 月中の同社鋼材引渡高は 502,000t で前月に比べて 70,000t の減、前年同期より 841,000t の減。

		5 月上旬 爲 替 相 場								
區分	月日	5	2	3	4	5	6	7	9	10
對 英	1/2-0	"	"	"	"	"	"	"	"	"
對 米	28-1/2	"	"	29-1/8	29-1/16	"	29-0	"	"	"

10 日 棒鋼共販理事會開催、指定問屋の割當比率 (昭和 13 年 11 月末迄の分) 及富永鋼業、東海鋼業の新加入を決定。

11 日 形鋼共販理事會開催、指定問題の割當比率は昭和 13 年 11 月末迄の暫定的のものとして決定す。建値は前回通り。

○我軍は廈門市を占領す

○本日紐育よりの入電次の如し。(爲替 28-1/2%)

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs
M. S. Bars (Base size)	\$ 52,416	¥ 183.74
" Angles ( " )	50,624	177.55
" I Beams ( " )	"	"
" Channels ( " )	"	"
" Plates ( " )	"	"
Sheet Bare (Common size)	37.65	132.81
Billets ( " )	"	"
Ingots ( " )	35.35	124.87

○米國の鐵鋼界は依然不振を續け今週の製鋼作業率は全能力の30.4%、前週よりも0.3%の減、4月中の鐵鋼生産高は1,925,000t(昨年同期 5,070,000t) 銑鐵生産高は 1,376,000t(昨年同期 3,392,000t)

○本日倫敦よりの入電次の如し。(爲替 1/2-0)

	per 2,400 lbs	per 1,000 kgs	Difference
(Cleveland No. 3 pig Iron)	£ 6-12-0	¥ 115.00	- 5.13
M. S. Bars	8-17-0	154.52	0
" Angles	"	"	+ 9.42
" I Beams	"	"	- 1.71
" Channels	"	"	"
" Plates	\$ 48.00	171.21	0

13日 従來無税品なりし英國銑鐵(特殊銑を除く)に33 1/3%の従價税を賦課し本日より實施さると。

14日 鋼塊組合總會開催、日曹製鋼株式會社、富永鋼業株式會社、東京鋼材株式會社の加入申込を承認、4、5、6月分鋼塊生産割當は鋼材聯合會小川專務委員の立案による事に決定。

○國際ブリキ組合は4月20日獨逸ケルンに會合し今後新規取引よりブリキの協定價格の引下げを行ふと。新價格はベ-ス物1箱20志3片で従來より2志3片下値。

15日 日鐵では來る30日に臨時株主總會を開催し次の事項を附議す。

1, 資本増加の件

(イ) 資本金 140,179,000 圓を増加し新株式 2,803,580 株を發行すること。

(ロ) 増加資本金140,179,000圓に對する新株式2,803,580株の内 2,268,780 株は政府以外の日鐵會社の株主に對し其の所有する日鐵會社の株式1株に付1株半の割合を以て割當て引受を求め 534,800 株は額面以上の價額を以て公募すること。

(ハ) 増資新株式の第1回拂込金は1株に付12圓50銭とすること。

(ニ) 増資新株式の割當期日の決定、引受なき株式の處置、割當端數株の處分其他本増資の實行に關し必要な事項は取締役會に之を一任すること。

2, 定款變更の件

定款第4條及第10條を次の通り變更す。

第4條 本會社の資本金は 500,000,000 圓とす

第10條 本會社の株式は 10,000,000 株とし1株の金額を 50 圓とす

資本増加の場合に於ては額面以上の價額を以て株式を發行することを得。

16日 5月分東京小賣物價指數は197.6と前月に保合、調査品目中騰貴14、低落9、保合77。

○徐州大會戰に於ける我南北兩軍は隴海線陽山驛附近にて連絡成る。

17日 日本亞鉛鐵鋼業株式會社では第2、40t平爐の初出湯を見る。

○舊獨逸國に於ける銑鐵相場は從來獨逸のそれより3割乃至8割高になつてゐたのを獨逸政府は獨逸相場と同水準まで引下ぐる様下命す。

○4月中全國生計費指數は205.0%で前月より9%の續騰。

18日 今週の米國製鋼作業率は30.7%と前週より0.3%の微増を示したが前途は尙不振、屑鐵市況も再び軟化傾向を示しピツツパーク渡し一級屑鐵は、當り11弗25仙。(前週より25仙乃至75仙下げ) 昨年8月下旬の約半値に下落す。同輸出向は8弗50仙乃至9弗50仙(前週9弗50仙) レール屑輸出向ボストン貨車渡11弗。(變らず)

19日 濠洲政府は來る7月1日より同國の鐵鑛輸出の禁止をなすと。

○徐州陥落す。

20日 3月中全國勞働名目賃銀指數286.7で前月より1.5%の昂騰、實質賃銀指數は生計費指數の續騰に拘らず前月より0.3%高の141.1となる。(大正3年7月基準)

○綿絲の販賣價格取締規則(商工省令)公布さる。

○豫て商工省に設立認可申請中の社團法人鐵鋼聯盟の認可を見る。

○東京伸鐵工業組合の引受問屋組合は27店を以て結成さる。

5月中旬爲替相場

月日	5. 11	12	13	14	16	17	18	19	20
對英	1/2-0	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	29-0	"	"	"	28-1/2	"	"	"	"

21日 ○倫敦よりの入電によれば大陸鐵鋼メーカーの現状は不況裡にあるも米國の協調する事に依り極力値段を維持せんと努めてゐる先行は一に懸て米國が値下するや否やに依て決するであらうと。

○鐵鋼聯盟の設立認可あり鐵鋼協議會解消す。尙同聯盟の常務委員は澁澤、福田、齋藤、永野(以上日鐵)、小川(鋼材聯合會)、高松、渡邊(鋼管)、大材(鶴見)、淺田(神戸)、末兼(小倉)、大橋(東海)、松井(昭和)の諸氏と決定。

23日 全國鋼材商業組合は商工省より正式認可を見る。

○チエッコスロバキアのチエブ市に於て、獨逸人2名チエッコ官憲に射殺され獨逸軍は國境に軍隊を集結し、一方チエッコ政府は豫備役を召集せりと。

24日 製鋼原料懇話會例會では6月中屑鐵購入値段は特級品102圓、一級品97圓、二級品87圓据置と決定。

○日鐵では日本製鐵北支出張所(中華民國北京朝陽門大街380號所在)を設け北支事務所を廢止す。(華名北京日鐵公同は今後之を使用せず)

○濠洲首相が19日聯邦會議に於て7月1日以降鐵鑛輸出禁止をなす旨聲明したるに對し我外務省は情報部長談を以て濠洲政府の反省を促す。

25日 日本鋼材聯合會常務委員會開催、次記各社の同會並に所屬組合加入其他次記事項を決定す。

(イ) 鋼塊組合へ日曹製鋼株式會社、富永鋼業株式會社、東京鋼材株式會社、棒鋼共同販賣組合へ東海鋼業株式會社、富永鋼業株式會社。

鋼板共同販賣組合へ大阪製鋼株式會社, 大和製鋼株式會社.

日本鋼材聯合會へ日曹製鋼株式會社, 富永鋼業株式會社, 東京鋼材株式會社, 日本特殊鋼管株式會社, 東洋鋼材株式會社夫々加入す.

(ロ) 本年中各社自家工場用鋼材使用については聯合會の承認を要し, 他より購入する場合は聯合會發行の聲明によること.

(ハ) 新設, 増設又は改造設備をなせる工場に對する生産割當基準については本年未迄有效とし其以後は改めて審議をなす事となし, 次記の小川専務委員提出案を議決す.

1. 本申請ありたるときは商工省への届出量を基準となし別に聯合會は一應現場に付調査照會をなし該申請工場の生産能力の査定をなす.

2. 本申請ありたるときはこの査定資料に基き次の基準により生産割當をなす. 即ち第1次半年に對し一般操業率の6割, 同第2次に對しては同7割, 同第3次に對しては同8割, 同第4次に對しては同9割, 同第5次よりは一般操業率を適用す.

○棒鋼共同販賣組合理事會開催, 新規に加入したる富永鋼業株式會社の特定指定販賣人は三井物産株式會社, 同東海鋼業株式會社は三井物産株式會社, 三菱商事株式會社, 株式會社岩井商店, 株式會社安宅商會を特定. 尙指定問屋の比率に關する件, 賣出方法改正に關する件, 指定問屋と特約店の扱量分野並口錢に關する件等協議決定す.

○國際鐵鋼カルテル加盟各國代表者は羅馬に會合し, 來る6月末満期のカルテル更新問題につき協議をなすも同カルテル及所屬の販賣機關は結局存続されるものと見られてゐる

○蘭封陥落す.

26日 米國今週の製鋼作業率は全能力の29%と見積られ前週より17%の減.

○獨逸鐵鋼協會發表, 4月中獨逸鐵鋼生産高(單位1,000t)は銑鐵1,442(前月1,522)鋼1,764(前月1,945).

27日 米國一級屑鐵ピツツパーク消費者渡11弗25仙~11弗75仙(前週に保合)同輸出向10弗75仙~11弗25仙(前週8弗50仙~9弗50仙)レール屑物輸出向ボストン貨車渡10弗(前週11弗).

28日 昭和12年7月を100とする東京市5月中勞働者生計費指數は108.2で4月より0.1%の低下, 給料生活者生計費指數は107.5で4月と保合.

○近衛内閣は今事變の徐州陥落による新たなる局面に供へるべく内閣の一部更迭を行ふ. 即ち, 外務大臣陸軍大將宇垣一成, 大藏大臣兼商工大臣池田成彬, 文部大臣陸軍大將荒木貞夫, 厚生大臣木戸幸一.

30日 米國一級屑鐵相場はピツツパーク渡10弗50仙乃至11弗と50仙方續落す.

31日 大阪伸鐵工業組合は6月物第1回賣出値段は据置と發表.

○日鐵では臨時株主總會を開催, 原案通り異議なく可決す. (本月15日記事参照)

6月下旬爲替相場

月日	5 21	23	24	25	26	27	28	30	31
對英	1/2-0	"	"	"	"	"	"	"	"
對米	28-1/8	"	28-1/8	"	28-3/4	28-1/8	"	"	28-7/8

大陸鐵鋼情況 大陸カルテル及英國との聯合統制委員會は4月12日パリにて開催され, 米國代表も出席し, 次の諸點に關し論議が進められた.

1. 米國鐵鋼界との諸關係

米國側代表トッド, アウトローター兩氏は次の如く述べてゐる. 米國アウトサイダーの競争は徐々に下火となつて居り, 歐米鐵鋼協定に参加せる米國業者にもアウトサイダーの競争を抑へ得る準備が整たので, 2, 3ヶ月前に見た如き彼等の活躍も今後は相當制限されるであらう.

3月25日決定を見た歐米間の海外市場分野協定は着々効果を収めてゐるが, 他方歐米鐵鋼統制本部をロンドンに設置する件は, 今尙は規約の決定を見てゐない様である.

2. 歐米間のクォータに關しては, 昨年12月9日ドネツセルドルフ會議にて協定せられたのであつたが, 今回の會議に於ては餘り問題とならず, 一部海外市場向に對し多少の修整が爲された程度であつた.

3. カルテル更改問題に就ては隨分永い間意見が換はされてゐるのであるが, 目下更改準備委員等は白耳義鐵鋼業の希求する所に従ひクォータの決定を急ぎつゝある. 白耳義業者等に有利に展開せんが爲には今尙協議が爲されねばなるまい.

4. 輸出値段も検討されたが, 價格政策の根本に影響を及ぼすか如き決定は爲されなかつた.

南阿方面に於ける米國アウトサイダーの競争が議題となつたが, 特殊な場合を除くの外は, 現行輸出値段を變更せざる事に意見の一致を見た様である. 價格の變更が行はれるとしても, 南阿鐵鋼會社との了解が成立してからの事であらう. 現在カルテルのメンバー間にも米國との競争上値引をしてゐる向もある様である.

白耳義商況 3月中の白耳義鐵鋼市場に於ける傾向に關しては誰も豫測を與へ得なかつた程の緊縮振りであつた. 然し微々たるものであるが, 良化の兆は3月の後半より受註状態に現はれて居り, 4月16日現在に於ける白耳義共販受註高を先月と比較すれば次の如くである.

		3月14日迄	4月16日迄
半製品		5,280	16,370(單位t)
形鋼		1,420	3,450
棒山		6,700	15,100
厚中板		4,620	7,215
黒板		825	7,210
計		18,845	49,345

白耳義メーカー等は業界の最悪事態も過ぎ去り, 市場の様子も好轉しつゝある事が明らかに看取出来るかと安堵してゐる.

製鋼工場や壓延工場の操業は今尙は引締められてゐるが之等とて徐々に復活する事とならう.

3月初めカルテルの採りたる價格安定工作に依り, 業界は一度危機に遭遇したかの如くであつたが, その後市場値段を探てゐた買手も遂ひに公定價格に馴染んで來た. 春季需要は旺盛とは云ひ得ぬまでも可成り有るので, 買手の在庫も漸減しつゝあるものと見られてゐる. 引合の種類も重要なものが多く, 數量も漸次纏たものが出て來て居り, 年初以來會て見なかつた大口物も在る.

4月21日ブラツセル市況

銑鐵 佛鐵鑛の白耳義向は當り67.50 白耳義法から2.50下り65 白耳義法となつた.

相場は先週來不變なるも月初頃よりは弱く, 鑄物用3號銑3, 12, 6~3, 15, 0, ヘマタイト800 白耳義法 FOB, アントワープ

である。

半製品 注文の大部分が国内からのもので、輸出商品は依然少いが、引合は弗々との事である。

棒、山 再壓延業者は 1 週 15~20 時間の操業を繼續してゐたのであるが、現在は 26~32 時間となつて居る。

白耳義共販の受註に日本からの 1,400t があつた。

三番アイアンバー 英國からの注文が途切れてゐるにも不拘相場は強く、一般輸出向は 6, 5, 0~6, 10.0 FOB である。

形 鋼 輸出向 1,500t 国内向 3,500t の受註であつたが、国内向の一部は白耳義鐵道の車輛用材である。輸出向としては、日本、アルゼンチン、スカンデナヴィヤ諸國向であつた。

帶 鋼 需要はホット、コールド共に稍々出て來た様であるが、數量的には未だ不充分である。

厚中板 受註は輸出向 2,700t、国内向 2,500t となつてゐる。價格は平靜であるが、造船材に就ては米國との競争が今尙ほ感じられてゐる。

黒 板 値引は全く行はれなくなつた、引渡期限も多少延長されて居る。

B, G, 24 番 13-0-0, 18 番 15-5-0 FOB と珍らしく公定價格で賣られてゐる。

亜鉛鍍板 此の品種も値引は最低限度に止められて居り、100t 以上の注文にのみ僅かに 5 志~7 志 6 片の値引が行はれてゐる程度である。

線 材 春需要に連れて相場も強く、 $\frac{3}{16}$ " は 5-0-0 (金) FOB, アントワープである。

○ブラツセル通信

(4 月 21 日發信) 拜啓 市況は幾分好轉の機運に向ひたるも今週は基督復活祭の週間のことゝ無商内を常例とせるも、人氣はよく、引合ひ相當にあり、殊に滿洲國より鋼板型鋼等 16,000t の入註ありと云はれ、此外丸鋼 10,000t の引合入込める由、亞米利加の競争再び話題に上り主として北歐向船舶用厚板の安値 Offer を發すと申居候。

4 月 19 日迄本月 3 週間 Cosibel 入註 50,400t 内(内地向 28,700t、輸出向 21,700t)と發表せられ申候。

1927 年~1937 年に於ける獨、英の鋼材生産の發展

○最近 10 年間の獨逸及び英國に於ける鐵鋼生産の發展を比較してゐることは、種々の見地から見て興味ある事であらう。今此の比較を爲すに當て、先づ第一に、兩國に於ける鋼材の全生産高の發展の状況を、此の 10 年間の經濟的に特徴ある年度をとつて比較してみよう。

鋼材 (鍊鐵を含む) 生産高 (單位 t)

	獨 逸	英 國
1927 年	11,945,000	8,043,010
1929 年	11,292,000	8,048,000
1932 年	4,234,000	4,627,000
1936 年	13,414,000	8,881,000
1937 年	14,118,000	9,916,000

(註) 但し英國の數字中には鋼管、鍛鋼、スクラップ及び端物は含まれてゐない。又獨逸の 1936 年及び 1937 年の數字には獨逸に復歸したザールの生産高が含まれてゐる。

此の表に依れば、ヨーロッパ鐵鋼業界が非常な繁榮を示した 1929 年に於て、英國の鋼材生産は 1927 年の水準を僅に超過してゐるにすぎず、獨逸の生産に至ては 653,000t の減少を見てゐる程である。

又深刻な一般的不況の年である 1932 年に於ては、獨逸の生産は英國よりも約 400,000t 少い。然し其後に於ける生産増加は、獨逸は英國を遙に越えてゐる。尙 1937 年の 1929 年に對する生産増加を兩國に就て見れば次の如くである。

獨 逸	2,826,000	25% 増
英 國	1,868,000	23% 増

全生産高の比較は以上の如くであるが、次に鋼材の品種別生産高に就て比較して見よう。但し此の場合煩雜を避ける爲に、鋼材の種別は、次のやうな稍々おほまかな分類に止めておく事とする。

		獨 逸	英 國
各 種 棒 鋼 形 鋼	1929 年	4,037,100	2,150,400
	1937 年	5,767,600	3,416,000
	増加率	42%	55%
各 種 フ ー プ 及 ス ト リ ッ プ	1929 年	481,600	395,000
	1937 年	814,500	814,500
	増加率	69.1%	91.7%
各 種 鋼 板	1929 年	2,282,100	2,011,800
	1937 年	3,089,500	2,575,500
	増加率	35.4%	28%
ブ リ キ	1929 年	145,000	894,000
	1937 年	267,200	973,100
	増加率	84.2%	8.9%
線 材	1929 年	1,170,700	257,200
	1937 年	1,208,000	614,200
	増加率	3.2%	143.7%
軌 條, 枕 木, 繼 目 板	1929 年	1,442,000	788,200
	1937 年	864,600	518,200
	増加率	47%	34.3%

次にこの表に現はれた著しい現象を要約して見よう。多くの場合英國の生産増加は、其の率に於て獨逸を超過してゐる。たゞ鋼板及びブリキだけが例外である。特にブリキに於ては、英國は生産増加は微々たるものであるに反して、獨逸の生産は著しい増加を示して居る。他方線材に於てはこれと丁度反對の現象が見られる。これ等の諸現象は、もとより兩國の鐵鋼業界の國內的及び對外的な種々の條件に基いてゐるものと思はれるが、此の問題は更に興味ある研究の對象をなすであらう。

ブラツセル通信 (4 月 25 日發信) 1937 年度白耳義ルクセムブルグ經濟同盟鐵鋼材輸出入並對日輸出狀況

今回白耳義政府發表昨年度貿易統計の詳細なるもの入手次の通り摘記御報告申上候也。

昨年中の白耳義ルクセムブルグ經濟同盟鐵鋼材貿易は總輸出 4,345,000t、4,878,630,000 法にして前年に比し量に於て 32%、金額 44% の増加を示し輸入は 565,000t、876,390,000 法にして前年に比し量に於て 6%、金額に於ては 37% の増進を見たり。

同年中の鐵鑛石輸出入は輸出 2,281,570t、76,930,000 法、輸入 12,406,680t、527,020,000 法にして前年に比し輸出 2 倍半輸入 16% のそれぞれ増量を見たり。

品種別に輸出入狀況を見れば次の如し。(重なるもののみを擧ぐ)

1, 輸 入	t 數	金 額
A, 合 金 鐵	32,930 t	48,339,000 法
B, 銑 鐵	275,002	220,338,000
C, 軋 力 板	25,104	83,522,000
2, 輸 出		
A, 銑 鐵	48,701 t	38,492,000 法
B, 半 製 品		
ブラーム, ブルーム	16,669	13,481,000
ピレット, シートバー	410,467	330,608,000
C, 特 殊 形 鋼	675,902	654,622,000
D, 壓 延 材	1,139,732	1,078,895,000
E, 軌 條	135,105	136,733,000
F, 車 輪	5,794	12,666,000

G, 軌條鐵枕板	34,907	36,836,000
H, 鋼板	473,547	563,945,000
黑鉛引板	162,148	302,568,000
I, 帶鋼材	211,110	270,411,000
J, 線材	246,698	213,158,000
	(2)	53,126
	(3)	42,055

備考 (1) 厚み 10 mm 未滿熱處理のもの (2) 冷却處理のもの (3) 加工品鍍金せるもの

K, 鋼管	36,150	99,211,000
-------	--------	------------

屑鐵鋼輸出入狀況次の如し

輸入	123,784 t	68,447,000法
輸出	342,561	207,436,000

國別に輸出入状況を見れば次の如し(重なるもののみを擧ぐ)

1. 輸入

A, 合金鐵	11,803 t	14,540,000法
佛蘭	7,001	13,511,000
獨逸	3,423	5,246,000
和蘭	3,363	4,183,000
B, 銑鐵	121,337	92,818,000
佛蘭	75,843	57,502,000
和蘭	30,592	22,529,000
蘇英	27,533 t	27,301,000法
C, 鍍力板	11,506	37,123,000
獨逸	6,096	20,775,000
英米	5,231	17,251,000

2. 輸出

A, ビレット, シートバー	227,395 t	178,637,000法
英獨日	57,304	43,204,000
フィンランド	29,370	23,453,000
フィンランド	24,105	18,511,000
B, 特殊形鋼 (I, T, L, U, Z 等)	99,261	89,178,000
獨逸	88,082	81,646,000
和蘭	71,923	78,204,000
アルゼンチン	71,470	79,006,000
瑞典	61,324	57,080,000
C, 壓延材	154,710	146,983,000
アルゼンチン	109,775	109,293,000
獨逸	108,560	107,478,000
英和	91,856	89,732,000
中華	84,693	72,759,000
瑞典	60,629	54,856,000
D, 軌條鐵枕板	20,489	20,067,000
アルゼンチン	20,334	21,461,000
和蘭	17,036	18,072,000
E, 軌條鐵枕板	24,553	26,563,000
南阿	2,725	2,139,000
瑞英	2,470	2,876,000
F, 黑板	125,593	159,679,000
アルゼンチン	57,056	63,418,000
瑞典	36,297	39,623,000
中華	26,257	26,630,000
英威	26,054	27,911,000
フィンランド	23,514	26,030,000
G, 亞鉛引板	20,871	40,743,000
南阿	10,574	17,926,000
蘭領	9,686	81,451,000
和諾	8,832	14,871,000
H, 帶鋼		

英日獨和英領印アルゼンチン瑞諸	34,191	38,525,000
國本逸蘭度	27,398	31,627,000
	14,969	16,740,000
	16,202	23,373,000
	15,112	17,916,000
	13,887	19,679,000
	12,687	14,435,000
	10,772	13,313,000

I, 厚さ 10 mm 未滿熱處理線材

アルゼンチン	31,649	25,332,000
中華民國	27,255	21,970,000
英和	24,795	23,615,000
瑞獨	20,241	24,646,000
英領印	20,260	17,363,000
	13,498	10,986,000
	11,308	9,118,000

J, 鋼管	3,913	11,785,000
フィンランド	2,812	5,199,000
和蘭	2,025	3,798,000

K, 屑鐵鋼	189,173	116,232,000
獨逸	41,995	23,615,000
波蘭	40,973	21,732,000
英致	26,877	16,511,000

次に本邦向白耳義ルクセムブルク經濟同盟昨年度並一昨年度鐵鋼材輸出次の如し。

	昨年度		一昨年度	
	t	1,000法	t	1,000法
1, ブラーム, ブルーム	737	573	2,242	12,104
4, ビレット, シートバー	29,370	23,453	9,461	5,566
3, 鋼塊	2,332	2,552		
4, 壓延材	35,007	33,802	6,079	4,906
5, 黑板	16,351	16,907	10,399	8,723
6, 帶鋼	27,398	31,627	24,051	23,043
7, 線材	8,493	6,891	6,524	4,476
8, 鋼管	1,424	3,510	1,464	2,988
9, 其他	420	2,278	106	435
合計	121,540	111,658	60,326	51,269
屑鐵鋼輸出	8,951	6,290	3,475	1,466

尙本邦より次の通り合金鐵の輸入あり。

	昨年度		一昨年度	
	t	1,000法	t	1,000法
	349t	876,000法	1,503t	3,725,000法

この通り昨年中本邦向 121,500t 121,650,000 法輸出あり、一昨年比し量に於て倍加、金額に於て 137% 餘の増額を示し、内殊に激増を見たるは鋼塊、ビレット、シートバー、壓延材等にして屑鐵の輸出も 158%、金額に於ては 4 倍以上の激増振りを示したるも輸入合金鐵は一昨年度の 1/4 に減少せり。

東西市況

(上旬) 消費節約が漸次強要せられてゐるとは云へ全消費量が增大してゐる一方、生産力が相當に擴大してゐるとは云へ供給急増は得難く、而も行動は大體共販組合、商業組合、工業組合等生産、配給、消費夫々の自治統制に委せられ、且其の自治統制組織が完成されてをらぬ今日では市場を完全に統御し、釘つけにする事は出来ぬ。假令一應基準値段を作ってみても、品薄に依り或は又小口手當買等にせよ相當の需要が到ると、市價の昂騰を來すのは、或る程度まで已むを得ぬのではあるまいか。

國家權力に依り嚴格なる統制が發動されぬ限りは、價格の變動に一定の方向、程度を保持しめるのは無理である。

自治統制が國家的統制に心身を擧げて協力して始めて理想とする統制市況が得られるのであらう。

昨今の市場は勿論手放して値上りを歓迎してゐるのではなく、非

常時局の求むる處に副はんとして鋭意努力してゐるのであるが、從來と程度こそ異れ今では未だ市場に多少共自由行動の餘地が残されてゐるので從來の動きに似た動きを辿るのは免れ難い。

即ち依然として窮窟否むしろ一層供給難を覺へたるに、買急ぎ、買置き風潮が前旬よりは稍々前進したので、自肅、自制しつゝも昨今は相場は在庫の如何と、入註の程度に依り夫々應分の値上りを來してゐる。

(下旬) 損は、不利は、兎角誇大に吹聴される、とは重々承知しながらも、ガソリンの切符制度となつてからの損や、窮窟談と云ふやうなものが、其の道の關係各方面から放逐されて來ると、次に控へるもの、即ち吾が市場關係の部面の如きがじつとしてをられなくなるのも無理はない。

勿論何もガソリン切符發行後の聲を其の儘受け容れたとか、或は又其の語に依てのみ影響されたと云ふのではないが、既に聊か敏感となり、唯さへ先行を懸念してゐた際として、下地は充分で、容易に先達の經驗が反映したのは争はれない。即ち過般來手當難懸念が先行し、それに供給難と在庫拂底と自重と抑制とが絡まつて移行すると云ふ情勢を展開するに至つたのである。

尙ほ加ふるに、時も時、そろそろ2、3種鐵鋼使用證明書の見本が關係業者に回附されて、愈々配給消費方面の維新近きを痛感せしめられるに至つたので、賣る者は、多少は目先の高値を掬はんが爲の情みが無いとは云へぬが、買ひ直はし難を慮り、同時に永年の取引先の需めに幾分にも應へんとし、併せて面子を思ふ結果、自然と手持を大切に、未知の世に處せんとする一方、買ふ者は、生命の糧である處の材料に對する必要感と、其の後續難に對する憂慮等の程度に依て、初のうちの、應分の高値も敢て辭せず、が遂ひには金に絲目をつけずとなり、彼是相俟て一層現品を拂底せしめ、買置きを助長し、硬化を來さしめたやうである。

一時的にせよ、行き過ぎの誹りが有るにせよ、昨今は確に金より物の情勢が展開してゐる。

更に、情勢を此處まで進展せしめたのはベース丸の品拂底である。

ベース丸は表向きは久しく在庫となる賣出しが無かつたので元々品不足となる運命であつた。其處へ買置き風潮が加はつて、昨今の品掠高を現出するに至つたのであるから、ベース丸今日の状態は矢張り近情からの派生的のものであり、其の意味に於ては結果なのではあるが、昨今では因果は廻てベース丸の情勢が今日に對して多分に拍車となつてゐると見てよいやうである。

即ちベース丸は鋼材の中樞であり、日用品にも等しいので其の情勢は際立て關心を惹き、其の波紋も廣く大きい。時の動向を誘發し、更に助勢するのは當然である。尙ほ御得意を大衆層とも云ふべき廣大難多なる階級にまで擁する事として、いざ買はれるとなると、小口手當買にしても、現品を消化して行くのみならず、其の手が市場全般に及び、隅々にまで延び、且つそれに伴て所謂生活に關する事までが、至極簡單、無雜作に涌き起り勝ちなので良かれ悪しかれ實勢が煽られるのは避けられない。

斯くて昨今は飢饉感が燃え上り、金より物となり、棒鋼、鋼板が奔騰を演じたやうである。形物は大勢上相當の硬化を示してはゐるが、應分に見られてをり、且つ大した狂ひも無いので、前記の物の如くには騒がれてをらぬやうである。

然し煎じ詰めれば結局相場は品切物が續出したが爲め所謂無物高を來したのである。從て手持量、原價、既約、新約、時、場合等々の如何に依て區々で時には基準値段で取引される場合が無いではない。

今日の成行を一本に表現する事は無理である。

尤も之も近き將來に於て、理想通りに進むならば、或る範囲内に漸次追ひ込まれる運命にあるので、長い命の無物高ではないと見られてゐる。

要するに非常時風景であり、自由主義經濟末期の煽りが加味された商状とでも云ふべきか。

過般の市況炎上の根底を成すものは極端なる品拂底である。而して手當難、買返へし難懸念から買置きの入用となり、手持重視となつて火に油が注がれ、遂に炎上となつたのである。

處で、今日は尙ほ炎上を誘導したもの即ち、品拂底も、それに附隨して生ずる諸々の不安も共に少しも緩和されてはをらず、むしろ一步前進してゐる。尙復買置き傾向も續いてゐる。從て、未だ高樓が焼け落ちる事はなく、燃えるものには火がつき、餘燼は冷めない。

尤も抑制され、自重自肅してゐる際にはあり、且前旬既に相當以上に炎上してゐるので、引續き前旬のやうに火勢をあげてをらぬのは勿論である。

昨今の市況はそう云ふ意味と、そう云ふ程度に於て、前旬の延長である。

將に逝かんとする自由主義的市場が之を名残りとして無物高を續けてゐる。

**當局製鐵事業の新設擴張考慮** (中外商業 6月10日) 商工省では最近の鐵鋼需給狀況に鑑み鐵鋼の配給統制、使用制限を實施する反面製鐵事業の新設擴張に積極的支援を與へ萬全の策を講じてゐるが原料關係上且國內屑鐵の供給にも限りがあるので、今後は製鐵原料需給の調整を圖る事が緊急となつたので、將來電氣製鐵事業の新設擴張を許可する場合は眞に必要已むを得ざるもの以外は抑制することとなつた、而して此許可方針變更に先だち9日午前特許局において製鐵事業委員會を開き審議の結果次記各社の申請を許可することとした。

1. 大阪電氣鑄鋼株式會社三國工場電氣製鐵事業
2. 長谷川源太郎阪神電氣製鋼所電氣製鐵事業

3. 株式會社保坂製鋼所加島工場電氣製鐵事業
4. 山本重治郎商店鑄鋼部電氣製鐵事業
5. 岩下又一岩下製鋼所電氣製鐵事業
6. 淀川鑄鋼株式會社西島工場電氣製鐵事業
7. 日曹製鋼株式會社尼崎工場電氣製鐵事業
8. 株式會社鐵興社酒田大濱工場電氣製鐵事業
9. 株式會社栗本鐵工所加賀屋工場電氣製鐵事業
10. 株式會社日立製作所木津川工場桑名分工場電氣製鐵事業
11. 日本ステンレス株式會社四日市工場電氣製鐵事業
12. 大谷米太郎大谷製鋼所大阪工場銑鐵、鋼鐵及び鋼材の製造事業

東京大阪鐵鋼市中相場表

東大 京阪 5月9日 5月18日 5月28日

備考 單位一〇〇疋につき(置場値段)但し薄板は一枚當り、線材は一箇當り、ブリキは一箇當り。

		5月9日		5月18日		2月28日	2月26日
		東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼	6mm	23.30	23.80	25.00	25.00	26.50	25.60
	9	22.70	22.50	24.00	23.20	25.00	24.00
	12	24.20	24.50	21.00~27.00	25.00	21.00~29.00	25.00
	19	22.50	21.00	20.00~26.00	25.00	20.00~26.00	20.50
	25	28.50	28.50	20.00~23.50	29.50	20.00~25.00	29.80
	50	30.00	29.50	30.00~33.00	30.00	30.00	29.80
	65	36.00	30.00	36.00~43.00以上	36.00~43.00以上	30.00~33.50	30.50
	150	38.00	38.00	38.00~43.00以上	38.00~43.00以上	36.00~43.00	49.00
200	24.70	24.50	25.20	24.30	26.00	24.90	
角鋼	9mm	24.70	24.50	25.20	24.30	26.00	24.90
	12	24.00	20.80	25.50	24.00	25.20	21.90
	16	28.80	26.50	25.20	21.50	25.00	21.50
	19	30.00	29.50	25.00	21.00	25.00	21.50
	38	34.00	34.00	30.00~31.00	27.00	30.00~32.00	28.00
	50	35.00	35.00	30.00~33.00	30.00	30.00~34.00	32.00
	65	24.80	24.50	30.00~36.00	34.00	30.00~36.00	36.00
	100	23.20	24.00	30.00~40.00	35.00	30.00~40.00	42.00
平鋼	3x25mm	23.20	24.00	25.80	24.70	26.50	24.90
	9x19	24.00	23.50	24.00	24.00	25.50	24.80
	6x25	22.50	22.60	25.00	23.30	26.50	23.70
	6x38	25.50	23.50	24.00	23.00	25.00	24.00
	6x50	26.50	26.50	24.50	26.00	26.50	24.00
	6x75	26.50	26.50	26.00	26.50	27.00	24.00
	9x100	22.50	22.50	26.50	23.50	27.00	24.00
	12x100	33.50	31.00	34.50	30.00	35.50	30.00
等邊山形鋼	3x20x20mm	32.00	30.00	34.00	30.00	34.50	30.00
	3x25x25	25.50	22.00	26.50	22.00	26.50	21.50
	5x40x40	21.00	21.00	21.50	21.00	21.50	21.50
	6x45x45	21.50	21.50	21.50~25.00	21.50	21.50~26.00	20.50
	6x50x50	20.50	20.20	21.00	20.30	21.00~22.00	20.50
	6x65x65	22.50	22.50	20.50	20.50	20.50~21.30	22.50
	9x130x130	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	12x130x130	21.70	21.50	21.70	21.50	21.50~22.70	21.50
不等邊山形鋼	9x50x75mm	23.00	22.50	23.00	22.80	23.00	23.00
	10x75x100	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	10x90x125	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	9x100x150	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	12x100x150	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	5x50x100mm	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	6x65x125	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	6x75x150	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
溝形鋼	7.5x80x200	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	9x90x250	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	10x90x300	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	5.5x75x150mm	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	7x100x200	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	10x125x250	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	8x150x300	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	12x150x350mm	26.50	26.00	26.70	26.00	27.20	27.50
鋼板	1.6x3'x6'	28.50	30.00	30.00	30.00	30.00~33.00	31.50
	1.6x4x8	35.00	35.00	30.00~45.00	30.00	30.00~45.00	30.00
	1.6x5x10	31.00	29.00	30.00~32.00	30.00	30.00~32.00	30.00
	2.3x3x6	32.70	30.00	30.00~34.00	30.00	30.00~34.00	30.00
	2.3x4x8	35.00	30.00	30.00~45.00	30.00	30.00~45.00	30.00
	2.3x5x10	30.00	32.00	30.00~39.00	30.00	30.00~39.00	30.00
	3.2x3x6	33.00	33.00	30.00~47.00	30.00	30.00~47.00	30.00
	3.2x4x8	34.00	35.00	30.00~38.00	30.00	30.00~38.00	30.00
	3.2x5x10	31.00	31.00	30.00~38.00	30.00	30.00~38.00	30.00
	4.5x3x6	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00
	4.5x4x8	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00
	4.5x5x10	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00
	6.0x4x8	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00
	6.0x5x10	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00
	9.0x4x8	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00
	9.0x5x10	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00
12x4x8	26.20	26.50	28.00	26.50	30.00	30.00	
薄鋼板(13枚)	川崎	1.03	.98	1.03	.98	.98	.99
	八幡	1.03	.98	1.03	.98	.98	.99
	英	38.50	40.00	38.50	40.00	38.50	40.00
	米	39.50	41.20	39.50	41.20	39.55	41.20
ブリキ	170	38.50	41.30	38.00	41.30	38.00	41.30
	200	39.50	41.50	39.00	41.50	39.00	41.80
	170	38.00	37.50	38.00	37.50	38.50	37.50
	200	39.00	38.50	39.00	38.50	39.50	39.00
W.W線材	200薄口	38.50	38.50	38.50	38.50	39.00	38.80
	B.W.G.#5	207.00	230.00	210.00	230.00	210.00	255.00

薄板 共同販賣組合の概容 (昭和13年5月16日現在)

名稱	加 盟 員	統制品種		設立期	存續期間	組 織 及 運 用
		組 合 自 由 販 賣 品 販 賣 品				
薄板 共 同 販 賣 組 合	日本製鐵株式會社	3mm 以下 1mm 以上 の中板 1mm 未滿の 薄板	特殊鋼 鋼板 仕上鋼 板	昭 和 13 年 3 月 11 日	昭 和 15 年 9 月 30 日	1. 組合は日本鋼材聯合會の方針に従ふものとする。 2. 供給調制、販賣管理を目的とし夫々統制品種に付次の事業を營む。 (イ) 組合員製品の生産協定と内地及輸出市場に於ける共同販賣 (ロ) 組合員以外のものの製作する其の組合統制品の受託と購入販賣 (ハ) 外國品の輸入と販賣 3. 2, 5, 8, 11月の定時理事會を總會と稱し、總會の決議にて毎期販賣高並に組合員の販賣比率を定むるものとする。 4. (イ) 原則として月1回理事會を開き日本鋼材聯合會の方針に従ひ、生産數量、輸入數量、販賣數量、販賣價格、取引條件及配給方法の決定等組合の運用に必要な一切の事項を議決す。但日常の業務は理事長に委嘱す。 (ロ) 理事會は各組合員より若干名の理事を選出し之を組織す。 5. (イ) 組合員の販賣比率は権利であり、義務であるとの觀念の下に故なく割當を辭退し又は翌月に繰越す事を得ず。 (ロ) 割當てられたる數量と販賣比率に基き請求し得る數量との過不足は3ヶ月以内に調節するものとする。 (ハ) 原則として1ヶ月以上の積遅れを生じたる組合員は其月の割當を請求する権利を有せざるものとする。 6. 官廳註文等特別なる場合を除き、組合の指定販賣人をして販賣せしむ。但薄板共販の亜鉛鍍金業者に對する販賣は指定販賣人を経る事を要せざるものとする。 7. (イ) 組合は配給の圓滑を期する爲必要に應じ問屋を利用す。 (ロ) 問屋は組合の配給機關たる任務を遂行する爲問屋組合等適當なる統制組織を形成し販賣値段又は配給に付組合の指圖に従ふ義務を負ふ。 8. 薄板共販組合は亜鉛鍍板の價格統制の必要上亜鉛鍍金業者に加工業者組合を組織せしめ亜鉛鍍用原板は該組合員にのみ之を販賣す。 9. 組合販賣品種と雖も次記のものは自由販賣とす。但數量統制に服す。 (イ) 自家用品 (ロ) 年度協定に依る官廳註文 (ハ) 理事會に依り特に除外せられたるもの 10. 自家用品と云ふは統制鋼材又は之を材料として製造せる製品を自家工場に於て使用する場合に限るものとし統制鋼材を材料として製造せる製品を販賣する爲使用する鋼材は販賣品と看做す。 11. 共販組合統制品種たる以上は一級品のみならず二級品其他の格落品短尺端物等總てを包含す。但熔解用を除く。 12. 事務所 東京市丸ノ内 郵船ビル 日本製鐵株式會社内
	日本鋼業株式會社					
	徳山鐵板株式會社					
	富永鋼業株式會社					
	東京製鐵株式會社					
	株式會社東洋製鋼所					
	株式會社川崎造船所					
	株式會社淀川製鋼所					
	株式會社中山製鋼所					
	株式會社吾孺製鋼所					
鶴見製鐵造船株式會社						
中山鋼業株式會社						
中山鋼業所尼崎工場						
大阪製鐵株式會社						
大阪薄鐵製造株式會社						
鉄力板 共 同 販 賣 組 合	日本製鐵株式會社	鉄力板 全部		昭 和 13 年 3 月 10 日	迄	
	日本亞鉛鍍鋼業株式會社					
	東洋鋼板株式會社					
	株式會社淀川製鋼所					
	株式會社中山製鋼所					
	高砂鐵工株式會社					
中山鋼業所尼崎工場						
扶桑鋼業株式會社						

共 販 指 定 販 賣 人 及 特 定 指 定 販 賣 關 係 (5) (昭和13年5月24日現在)

附 指 定 問 屋

	指 定 販 賣 人	特 定 指 定 販 賣 關 係	指 定 問 屋
鉄力板 共 同 販 賣 組 合	三井物産株式會社	組合員と指定販賣人との間に特 定關係を設けず	○東京の部 板 垣 橋 爪 東陽物産 大 野 沖 山 高 野 染 谷 内 田 草 葉 齋 藤 佐 野 木 下 守 山
	三菱商事株式會社		○大阪の部 井上(悦) 井上(光) 出 島
	株式會社岩井商店		富 安 川 崎 吉 岡 浪華商事
	株式會社安宅商會		中山商事 中 村 ナショナル商事
	高島屋飯田株式會社		山 富 山本(信) 山本(菊) 松 原 赤 尾 佐 渡 島
	○名古屋の部 岡 谷 側 島		
	○地方の部 龜 岡		



昭和13年5月中發表各種先物建値表

(其の1)

(其の2)

所屬別	區分 種類	建値 月日	積			備考		
			5,6 月積	6月積	7,8 月積			
棒鋼 共販	小形 { 丸鋼ベース 角平 鋼鋼	5-24			185	据置		
		"			200			
	"			200		"		
中形 { 丸鋼 角平 鋼鋼	"	"			210	" "		
	"	"			210			
	"	"			210			
形鋼 共販	小形山形鋼 (ベス)	5-25		195		据置		
		"						
	中形山形鋼 { 等邊 不等邊	"		190		" "		
		"		200				
	大形山形鋼 { 等邊 不等邊	"		200		" "		
		"		205				
大形溝形鋼	"		210		" "			
大形工形鋼	"		210		" "			
鋼板 共販	耳付 { ベース 小形 { 6mm 4.5 3.2	5-25			185	据置		
		"			190			
		"			190			
		"			—			
		大形 { ベース 6mm 4.5 3.2	"		195			" "
			"		200			
	定尺 { ベース 6mm 4.5 3.2	"		—		" "		
		"		215				
		"		220				
		"		220				
		"		225				
		"		—				
薄板 共販	31番 3'×6' (13枚入)	5-27	260					
	30" 3'×6' (12枚入)	"	260					
	29" 3'×6' (11枚入)	"	258					
	28" 3'×6' (10枚入)	"	258					
	27" 3'×6' (9枚入)	"	256					
	26" 3'×6' (8枚入)	"	256					
	25" 3'×6' (7枚入)	"	254					
	24" 3'×6' (6枚入)	"	254					
	22" 3'×6' (5枚入)	"	252					
	20" 3'×6' (4枚入)	"	252					
	18" 3'×6' (3枚入)	"	250					
	1'6mm×3'×6'	"	245					
2×3×6'	"	245						
2'3×3×6'	"	240						

所屬別	區分 種類	建値 月日	積			備考		
			5,6 月積	6月積	7,8 月積			
線材 共販	5.5mm	5-24			190	据置		
	6.0	"			188			
	太番 (7-13)	"			220			
	熔接用	"			245			
	低炭素用	"			230			
	硬鋼 A	"			240			
	硬鋼 B	"			260			
	電信線用	"			250			
	含鉛	"			230			
	鋼裝	"			220			
鋼帶 共販	厚さ幅 { mm mm 0.9~1 { 19~24 25~35 36~85 86~105	5-12	285			据置		
		"	275					
		"	260					
		"	270					
		1.1~1.3 { 19~24 25~35 36~49 50~121 122~150 151~160	"	280				" "
			"	265				
	1.4~2 { 19~24 25~35 36~49 50~121 122~150 151~170	"	255			" "		
		"	250					
		"	255					
		"	250					
		"	245					
		"	255					
2.1~2.5 { 25~35 36~49 50~121 122~150 151~170	"	255			" "			
	"	250						
	"	245						
	"	250						
	"	255						
	"	255						
2.6~3 { 25~35 36~49 50~121 122~150 151~170	"	255			" "			
	"	250						
	"	250						
	"	240						
	"	245						
	"	250						
鉄力板 共販	200 lbs	5-2		日鐵 37'00	其他 38'00	先物定期		
	170 "	"		36'00	37'00			
	石油罐用胴板	"		21'00	22'00			
	" 天地板	"		29'00	31'00			
半製品 共販	鋼塊	5-16		150		据置		
	鋼片	"		165				
	ブルム	"		165				
	スラブ	"		170				
	シートバー	"		180				
ティンバー	"		187					

組合 指定販賣人及特定指定販賣關係 (6) (昭和 13 年 6 月 4 日現在)

附 指 定 問 屋

簿板共同販賣組合	指定販賣人	特定指定販賣關係 (○は特定關係を示す)										指定問屋					
		指定販賣人															
		組合員	三井	三菱	岩井	安宅	日鋼	日商	淺野	大倉							
	日本製鐵	○	○	○	○	○								○東京の部			
	三井物産株式會社							○						伊藤(宗)川	入本	丸間	
	三井物産株式會社													石東シヤ-	岡加	谷藤	
	三井物産株式會社													大勝野	本内	司田	
	三菱商事株式會社													津本	岡柳	義店	
	株式會社岩井商店													梅柳	岡下	材商	
	株式會社安宅商會													柳鋼	佐藤	淺本	
	株式會社安宅商會							○						定木	兼下	本野	
	株式會社安宅商會							○						芝森	本岡	淺野	
	日本鋼材株式會社								○					○大阪の部			
	日商株式會社													飯井	塚村	井生	
	日商株式會社													井出	島葉	富永	
	日商株式會社													千大阪	鋼材	小大阪	
	日商株式會社													和井	田山	大波	
	日商株式會社													片山	山中	吉浪	
	日商株式會社													田山	商事	ナショナル	
	日商株式會社													中山	本(東)	山本(貞)	
	日商株式會社													松本	本田	深井	
	日商株式會社													福佐	波島	淺北	
	日商株式會社													芝	本	森	
	日商株式會社													○名古屋の部			
	日商株式會社													石原		岡	
	日商株式會社													○地方の部			
	日商株式會社													仁田		谷	

**秘露大藏省令鑛石輸出附加稅徵收方法** (4月2日附在秘露, 藤村臨時代理公使報告) 秘露大藏省はアンチモニー、タングステン及モリブデン鑛の輸出に對し課せるべき附加稅たる失業救濟稅從價1分の徵收方に關し本年3月8日附を以て次の如く制定せり。

1. アンチモニーは原鑛たると選鑛たるとを問はず其の品位 90% として紐育週間誌 工業及鑛業 に掲載の紐育相場に基き之を評價す但し原鑛に付ては毎 2,000 lbs 當り 17 弗 50 仙を選鑛費として之を控除す, 港灣稅及其他の課稅は選鑛費を控除したる鑛石價格の 98% に對し之を課し法律第 7,540 號 (失業救濟課稅法) に依る 1 分の課稅は諸課稅を控除したる殘額に對し之を課す。
2. タングステン鑛は原鑛たると選鑛たるとを問はず前記雜誌掲載

の其のタングステン酸  $WO_3$  含有量による米  $t$  當り紐育相場に基き之を評價す, 但し毎米  $t$  含有の  $WO_3$  1 單位に對する米國輸入稅 7 弗 93 仙を控除し又選鑛費は毎米  $t$  42 弗と定め算出せる價格の 98% に對し諸稅を課し且此の諸稅を控除したる殘額に對し失業救濟稅 1 分を課す。

3. モリブデン鑛は原鑛たると選鑛たるとを問はず常衡 lbs 量に於けるモリブデン含有量 90% として前掲雜誌掲載 lbs 當り紐育相場に基き評價す, 但し毎 lbs 米貨 31 仙の米國輸入稅を控除し又選鑛費は毎米  $t$  42 弗と定め算出せる價格の 98% に對し諸稅を課し且此諸稅を控除したる殘額に對して失業救濟稅 1 分を課す。